



外国出張報告書

平成 26 年 3 月 30 日

1. 出張国名 モザンビーク
2. 出張月 平成 25 年 11 月～平成 26 年 1 月
3. 出張目的 JICA 技プロ「ナカラ回廊農業開発研究・技術移転能力向上プロジェクト」
 における研究調査業務：A

4. 成果の概要

I. 今作季から開始する農家圃場試験（間作と N 施肥の効果）に関して、社会経済分野の山田主任研究員とともにナンプラ（ムリアーゼ）、グルエ、リシंगाの農家グループへの説明を行った。

IIAM 試験場内では、リシंगा、ムトゥアリ、ナンプラにおいて区画決め、土壌採取、耕起、施肥、播種、間引き等の作業を行った。12 月中に播種は終了したが、出芽状況が悪かった試験区に関して、再播種、追播きを行った。

II. モザンビークでの JIRCAS 活動のプレゼンスを確かなものにするため、2014 年 1 月 12 日に JIRCAS と IIAM との間で研究協力覚書 (MOC) を現地で締結した。岩永理事長と Maposse 所長の署名は、大統領府において、安倍首相とゲブーザ大統領の見守る前で行われた。企業向け投資フォーラム、日本食 PR イベントの際に、JIRCAS がモザンビークやアフリカ各国で行っている研究活動を紹介した。一連の準備を数日間で行った。